

うしみさダボール子育て情報

「知的発達」

令和7年10月29日号

板橋富士見幼稚園



遊びは知恵を学ぶ

乳幼児の発達は、健康的な学びと心情的な学び、そして知的な学びが相互に絡み合い知力が培われていきます。その学びを助長するためには環境という、子どもを取り取り巻く場が大事とされています。

幼稚園の環境は、目の前に広がる園庭や保育室を眺めた時に、「あっ、あれやろう！」と主体的に行動し自己発揮できるように構成されています。そして、自発的に遊びを進めていく中で、試したり、工夫したり、失敗したりを繰り返し、試行錯誤しながら遊びが展開されていきます。

遊びは、子どもにとって常に考え続ける思考の連続です。その中で、出会う知恵は、発見でもあります。虫取りをしている子が、「なんで、虫は高いところにいるの？」と不思議に感じたとき、“なんで”を探究したくなるのです。そして周りを見渡し、電灯の明かりをみつけ、電灯の近くに虫の集まることを発見するのです。単に虫を追いかけて採ろうとしていた子どもが、懐中電灯の明かりで虫を誘うようになります。遊びの経験を通して「そうだ、懐中電灯で照らせばいいんだ！」と虫の習性を虫採りから学び、近い将来、“虫は光に吸い寄せられる習性があること”を理解します。このような遊びの中には沢山の知力が詰まっていて、その知力に気づけるよう、サポートするのが幼稚園の先生です。

身近な小さな出来事の中で、子どもが無心に遊んでいるときには、近づいてそっと一緒に心寄せてみると、知の学びが見えてきますよ。

【 秋の深まり 】

園庭の葉が色づいてきました。落ち葉の洋服や壁飾りなどを作り、秋の遊びを楽しんでいます。

